

2018年8月の邦人犯罪被害事例

在フランス日本大使館領事部

8月中に大使館領事部に届けられた邦人の犯罪被害件数は52件で、2018の合計は、計314件となりました。

今月のコメント!

◎話しかけによるスリ、置き引きの被害が増加しています。見知らぬ人から話しかけられた際には、まず犯罪を疑い、貴重品の管理を徹底してください。

◎渡航にあたっては、外務省海外旅行登録「たびレジ」への登録をお勧めします。

【2018年8月の被害届分析表】

○被害手口	当該月	累計
強盗	1	4
ひったくり	0	19
スリ	37	173
置き引き	11	93
車上狙い	0	16
侵入盗(空き巣等)	5	8
偽警察官	0	0
その他の手口・不明	0	1
合計	52	314

○事件発生時間帯	当該月	累計
0時台～5時台	1	4
6時台～9時台	12	42
10時台～13時台	13	66
14時台～17時台	11	100
18時台～21時台	14	75
22時台～23時台	0	20
不明	1	7
合計	52	314

○事件発生曜日	当該月	累計
月曜日	6	38
火曜日	13	47
水曜日	3	31
木曜日	11	53
金曜日	4	43
土曜日	7	55
日曜日	8	46
不明	0	1
合計	52	314

○平日・休日の別	当該月	累計
平日	38	202
週末・祝祭日	14	111
不明	0	1
合計	52	314

○発生場所	当該月	累計
○パリ市内及び近郊		
地下鉄車内・駅構内	4	70
RERのB線	3	18
上記以外の電車・駅構内	0	0
凱旋門・シャンゼリゼ通り界限	4	16
エッフェル塔界限	4	9
オペラ座界限	5	49
ルーブル・オルセー美術館界限	4	14
上記地区以外のレストラン・カフェ	1	14
上記地区以外のホテル	4	13
上記地区以外の路上	11	32
その他の場所・不明	6	29
○パリ市とその近郊以外		
電車・駅等交通機関	2	21
レストラン・カフェ等	1	9
ホテル	3	4
路上	0	11
その他の場所・不明	0	5
合計	52	314

○性別区分	当該月	累計
男性	16	147
女性	36	167
合計	52	314

○年齢	当該月	累計
20歳未満	10	13
20歳代	11	72
30歳代	4	52
40歳代	5	54
50歳代	12	67
60歳代	8	41
70歳以上	2	15
不明	0	0
合計	52	314

○月別発生件数(2018年)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
39	38	45	25	34	43	38	52	0	0	0	0	314

【8月の被害例】

1. ホテルの朝食会場で日本人グループのみが朝食を取っていた時、アジア系男性が入口付近を出入りしていた。端に座っていたが男性が床にネックレスが落ちてしていると話しかけてきた。日本人グループの物かと思い、拾ってグループの一員に声をかけていたが、気づいたら椅子に置いたままにしていたバッグが盗まれていた。(女性旅行者)
2. オペラ駅の改札を入ろうとした際、4人組の女性に挟まれ、後ろから押された。気づいたらショルダーバッグの中から貴重品が盗まれていた。(女性旅行者)
3. サンジェルマンデプレ駅で改札を入ろうとした際、少年が後ろから貴重品を抜き取って逃げた。追いかけたが見失った。(女性旅行者)
4. 凱旋門付近で写真を撮っていた際、いつの間にかショルダーバッグから貴重品が盗まれていた。(男性旅行者)
5. Rue Saint Charles を歩行中、バイクに乗った男が話しかけてきた。バイクが去った後、バッグが盗られているのに気づいた。(女性旅行者)
6. 午前3時頃、Porte de la Ville 付近を歩行中、男から数度話しかけられた。無視していたところ後ろから羽交い締めになれ、道路に押し倒され、ウェストポーチを強奪された。(女性旅行者)
7. モンマルトル付近のホテル前でタクシーから荷物を降ろしている際、男性から話しかけられた。気づくとカバンを一つ盗まれていた。(男性旅行者)
8. モンパルナス発のTGVに乗車中、荷物置場に置いていたバッグが途中の駅で盗まれていることに気づいた。(3人家族旅行者)
9. パリ北駅でスーツケースとバッグを友人に預けてトイレに行っていたところ、友人が男性から話しかけられ、回答している隙にバッグを盗まれていた。(女性旅行者)
10. ランス駅で電車に乗り込む際、男性がキャリーバッグを持ってくれた。席に座った際、リュックサックのファスナーが開いており、貴重品が盗まれていることに気づいた。(女性旅行者)